



ヨコハマ市民まち普請事業

平成 28 年度

整備助成対象グループ

決定

平成 28 年 1 月 31 日 (日)、横浜市市民活動支援センターで、平成 27 年度の二次コンテストが行われました。会場は満員状態で熱気のこもる中、4 つの提案グループがこれまで練り上げてきた整備提案をプレゼンテーションしました。

27 年 7 月 4 日の一次コンテストでは「創意工夫」、「意欲」、「公共性」が審査基準でしたが、二次コンテストではさらに「実現性」、「費用対効果」、「地域まちづく



りへの発展性」が問われます。コンテスト通過を目指して、地域の住民、自治会や団体、学校や企業の協力を得ながら、つくり上げた提案はどれも人とのつながりや地域での活動の拡がりを感じさせるものでした。

選者の結果、27 年度の整備助成対象グループは次の 3 グループとなりました。この整備を通して、さらに地域が盛り上がっていくことを期待しています。



湧水を住民のいこいの場に!子どもたちに自然体験を!

樹林地にある湧水と水路の環境を改善し、子どもや高齢者などが安心して憩える場に整備します。整備地の環境保全活動を通じて、地域交流の活性化が期待できます。

住民同士の輝き「人材マップ」を中心にした拠点づくり

空き家を活用し、地域住民が運営するコミュニティカフェ機能を持つ交流と活動の拠点を整備します。住民同士の相互支援の円滑化、まちづくり活動の活性化が図られます。

東山田工業団地に案内板、掲示板、会社マークを設置

工場と住宅が混在している準工業地域に、マップ、サイン、掲示板を設置し、似た風景で迷いやすい状況を改善します。住民と企業が相互理解を深め、共生する準工業地域を目指します。

提案名と内容

提案グループ

区名

下和泉湧水を守る会

泉区

六浦東・まち交流ステーション委員会

金沢区

つづきっず、はい!

都筑区

地域まちづくり課「公認」Facebook

「ヨコハマ市民まち普請ひろば」

Facebookに登録していなくても誰でも見られます。

まち普請ひろば 検索 クリック

既にFacebookに登録されている方は、是非「いいね!」をよろしくお願いします。(Facebookページの運営は協働事務局のNPO法人アクションポート横浜が担当しています)

ヨコハマ市民まち普請事業とは...

地域住民の思いを形にすることでコミュニティの拡がりをつくることを目的として、市民提案によるハード整備を支援しています。1年を通して行われる、2回の公開コンテストを通過した提案に対して、翌年度上限500万円の整備助成金を交付しています。参加団体が相互支援できる仕組みづくりにも取り組んでいます。

詳しい情報は、横浜市のウェブサイトでご覧いただけます。

まち普請 検索 クリック

事前相談も随時受付中!

まちづくりについての情報を募集しています。

まちづくりに関するイベントや参加者募集、地域で行っているまちづくりの取組などの情報を下記までお知らせください。

メールマガジン「ヨコハマ人・まち」で広報のお手伝いをします。

<<情報提供のあて先>>

横浜市 都市整備局 地域まちづくり課

Email: tb-machizukuri@city.yokohama.jp

「ヨコハマ人・まち」のメールマガジンは地域まちづくりに関心のある方々への転送、お誘い大歓迎です。

メールマガジンの配信申し込み・停止は、ヨコハマ人・まち 検索 クリック

平成 28 年 3 月 発行

ヨコハマ人・まち

まちへ人がまちをつくる

vol. 50

発行: 横浜市 都市整備局 地域まちづくり課

TEL 045-671-2696 FAX 045-663-8641 Email: tb-machizukuri@city.yokohama.jp

取材・編集: NPO法人 アクションポート横浜

TEL/FAX 045-662-4395 Email: info@actionport-yokohama.org

1 P~3 P 生まれ変わった戸塚をみんなで盛り上げる

4 P ヨコハマ市民まち普請事業 平成 28 年度整備助成対象グループ決定

生まれ変わった みんなで 戸塚を 盛り上げる

昭和 37 年に都市計画決定されてから 50 年以上の年月を経て、戸塚駅前地区中央土地区画整理事業による工事が、平成 28 年 3 月に完了しました。

この間、横浜市と一緒に事業を進める権利者団体として、戸塚駅西口第 2 地区再開発協議会・戸塚駅東口周辺再開発協議会・戸塚駅矢部地区街づくり協議会が設立されました。

協議会では、土地区画整理事業の勉強をしながら、また、単に公共施設の整備に留まらずに、まちづくりの推進を図るために検討を重ねてきました。

工事の完了に伴い協議会は解散しましたが、整備された施設の活用や維持管理などに取り組む団体に生まれ変わり、活動を開始しています。

区画整理事業によって生まれ変わった新しいまちを住民と新たにこの地域に関わる人とでどう盛り上げるか、次のステップに踏み出す戸塚での活動を紹介します。

一休さん・ふたかけ広場ハマロードサポーターのみなさん



模型を使ってプランを検討する「大踏切ひろば会」のみなさん



「矢部トンネルの丘公園愛護会」の清掃活動の様子



3/13 に開催された「区画整理完成記念戸塚にぎわい広場お披露目イベント」の様子



戸塚駅前地区中央土地区画整理事業のあゆみ

旧東海道の宿場町だった戸塚は、昭和30年代に工場の進出や周辺の宅地開発が進み、駅を中心に発展してきました。

しかし、駅周辺の道路は狭く、防災上の問題を抱えていました。また、唯一の幹線道路である国道1号には、往来の多い線路を横切る通称「開かずの踏切」があり、まちが東西に分かれていました。

そのため、横浜市は昭和37年に駅前広場などの都市基盤の充実を図るため、約21.8haの区域について、土地区画整理事業の都市計画を決定し、駅前再開発事業に着手しました。昭和61年に東口、平成25年に西口の駅前広場や周辺道路などが相次いで整備されました。

また、地区の諸問題の解消とそれに合わせた商業の活性化や安全な住宅地などのまちづくりについて、地元3つの協議会と横浜市が一緒に取り組む活動も行われてきました。

その後、平成26年1月には歩行者用の「戸塚大踏切デッキ」、27年3月には線路下をトンネルでくぐり、駅の東西を結ぶ自動車・オートバイ用の「戸塚アンダーパス」や、その沿道の市街地整備が行われ、遂に28年3月、全て公共施設がオープンしました。



①一休さん広場②ふたかけ広場③戸塚大踏切デッキ（開かずの踏切の上空通路）
④戸塚大踏切ひろば⑤吉田電車の見える公園⑥矢部トンネルの丘公園⑦戸塚アンダーパス

区画整理事業の変遷



東口から見た大踏切（平成15年）



大踏切閉鎖の瞬間（平成27年）



「戸塚アンダーパス」

一休さん・ふたかけ広場 ハマロードサポーター

（旧戸塚駅西口第2地区再開発協議会
H28.2/23 解散）

～広場等の清掃活動～

この広場の清掃や管理を行うのが、「一休さん・ふたかけ広場ハマロードサポーター」です。

メンバーには近隣住民の他にも、新たにできたビルに入居するテナントの皆さんも参加してくれるなど、少しずつ輪が広がりつつあります。「ふたかけ広場」のそばにある保育園の園長からは「ぜひ園児たちも一緒に清掃にかかわりたい」という申し出もあり、元々住んでいた住民と新たに地域に関わりをもつ人々とが清掃活動を通じて交流を深めるなど、今後、様々な活動への発展が期待されます。



「一休さん・ふたかけ広場ハマロードサポーター」岡田会長

「開かずの踏切」があった場所の西側には、「一休さん広場」と「ふたかけ広場」が新しく生まれました。「一休さん広場」には歩行者がちょっと一休みできるようにベンチと植栽があります。「ふたかけ広場」には子どもたちの憩いの場となるよう、「けんけんぱ」をイメージした楽しいデザインの舗装が取り入れられました。

大踏切ひろば会 （旧戸塚駅東口周辺再開発協議会 H28.2/27 解散）

～賑わいづくりのイベント企画等～

「東口周辺再開発協議会」は、平成26年1月に横浜市が主催した戸塚大踏切デッキ完成式典で、橋の永続を願って行う三世代夫婦の渡り初めを提案しました。「一家に三世代の夫婦が健在でいることは大変珍しく、おめでたいことから、橋ができた時には、渡り初めをするものだ」という話があり、地元の人づてに探し、実現にこぎつけました」とのこと。式典は大いに盛り上がりました。

28年3月にはデッキの東側に「戸塚大踏切ひろば」が完成しました。それを記念して、同時に完成する「ふたかけ広場」などとともに「区画整理完成記念 戸塚にぎわい広場お披露目イベント」が開催されました。

お披露目イベントはライブ、スポーツゲーム、餅つきなど企画が盛りだくさん。大人から子供まで楽しんだこのイベントで、メイン会場の企画・運営を担ったのが、「大踏切ひろば会」のメンバーで、地域でお店を営んでいる事業者の方々です。「大踏切ひろば会には、イベントなどに長けた人がたくさんいる。」とメンバーから情報を集め、得意技を見抜き、任せる環境をつくっています。

今後も楽しいイベントでにぎわいのあるまち・戸塚を盛り上げていくことでしょう。



「大踏切ひろば会」坂間会長と神戸さん

「戸塚アンダーパス」の上部に位置する2つの公園は、地域で方向性やデザイン等を検討してきた、細長い形状が特徴的な公園です。「矢部トンネルの丘公園」は、まちの里山広場をコンセプトとした緑豊かな散策路とはらっぱ広場で構成されています。

美観の維持と安全管理のために公園愛護会が行う雑草刈りは



「矢部トンネルの丘公園愛護会」の荻原さん、小寺会長、猪熊さん

とても大変で、夏には大きな袋に50袋ほどの大量な雑草を刈り取るそうです。隣接する寺院の善了寺とも協力関係をつくり、お寺に来ている子供たちも清掃に参加するなど地域に根付いた活動になっています。さらに、町内に移転してきた日立のソフトボールチームの寮の皆さんが、清掃活動に参加するようになりました。町内会も試合の応援に行くなど、住民と企業による交流も始まっています。

今後もこの公園で、人とのつながりを大切にしながら、活動を続けていきます。

矢部トンネルの丘公園愛護会 （旧戸塚駅矢部地区街づくり協議会 H28.3/26 解散）

H28.3/26 解散

～公園の清掃・管理活動～

長きにわたった区画整理事業が終わり、戸塚駅周辺は新しいステップに踏み出しました。これまで区画整理事業に取り組んできた3つの協議会は少しずつ役割を変えて、引き続きまちづくりを担います。

今後の戸塚駅周辺全体のまちづくりのルールについても議論を重ね、商業地区については「東海道戸塚宿まちづくり倶楽部」、住宅地区については「明るい街コミュニティ戸塚」という横浜市地域まちづくり推進条例に基づく組織認定とルール認定をうけた二つの団体も生まれ、まちづくりルールの運用も市民主体で実施しています。

住民と新たにこの地域に関わる人々が協力するまちづくり活動で、戸塚のまちがどのように活性化していくのか、今後の展開がとても楽しみです。

